

「鉄道維持は国の責任」

北海道

存続求め、会が抗議声明

JR北海道の路線存

続を求めている「北
の鉄道存続を求める
会」は5日、国が交付
税などを活用した支
援を見送ると報じら
れた問題で、「鉄道の
存続へ必要な国の支
援を求めます」との抗
議声明を発表しまし
た。

声明は、北海道をく
まなく走る鉄道を維
持することは沿線自
治体だけではなく、北
海道全体の問題であ
り、さらには国が全国
一律で確保する責任を
負う公共交通のユニバ
ーサルサービスを維持
するかどうかという国
土政策の問題と強調。
にもかかわらず、財政
力の小さな沿線自治
体のみに負担を求め、
国の支援を「見送る」
のは国としての責任を
放棄するもので許され
ないと批判していま
す。

沿線住民の願い

食料生産基地として
の北海道の役割や災害
時の備え、環境に優し
い物流インフラでもあ
り、沿線住民の強い願
いの鉄道の維持は地域
エゴではないと反論。
国の「見送り」が、道
が地方財政措置を前提
としたJR支援に難色
を示したことによると
報じたのも重大だと厳
しく指摘しています。